

野の花館だより

2004/秋号 / No.33

宮崎県内に農林水産物 20 億円の損害をもたらした台風 16 号は野の花館でも葺いたばかりの屋根板を 50 枚ほど飛ばし、来客を招き入れてた大きなせんだんの樹を 30 センチほどの幹から折っていきました。

竹林もだいふくあらされて後片付けがたいへんです。子ども達の夏休みも無事に終わり、ほっとしているところです。今秋 11 月にはいろいろびらきと舞台公演の 2 つのイベントが続きます。どうぞ皆さんぜひお時間を作られてご参加ください。チケット売りもご協力いただきますようお願い申し上げます。

野の花館子どもの夕べ 2004/// 2004 年 11 月 3 日 (祝)

スケジュール 14:00 受付開始

- 14:30 いろいろ開き「子供たちの火熾しから神事まで」
- 15:00 バングラデッシュ・スタディツアー - 報告・佐藤史明さん
- 15:30 国際交流 (バングラ・ネパ - ル・インド・中国・カンボジア)
- 16:30 舞台公演・人形劇「セロ弾きのゴーシュ」ほか・演劇企画「二人の会」
有料(親子券・2000 円 / 大人・1500 円 / 子ども・800 円)
- 19:00 交流会(参加費・1000 円)

子どものための舞台公演

パリヤ - ソ in 野の花館
谷川賢作さん

4 度目の来館

2004 年 11 月 23 日(祝)



鏡 龍光さん

1952 年秋田県生まれ、出版社勤務を経て人形劇団ぱべっと入団から人形劇を始める。
1979 年つばくろ人形座を結成、主宰、制作、演者として活動。
1999 年よりソロ活動を開始。



2002 年パリヤ - ソ in 野の花館

////////////////////////////////////

対馬丸 野外上映会・・・野の花館平和を考える集い 2004・・・7月16日

戦争を伝えるのは、難しくなっていると思う。
 映画会直前の新聞で、たしかこんな記事を読んだ。
 沖縄で、戦争を学ぶ企画をしようとしたところ、大人は「対馬丸の映画の上映」を提案した。高校生の反応は「もう学校で何回も見せられているからうんざり」というものだった・・・。
 いかに素晴らしい映画だとして、押し込められるようにして教条主義的に見せられたのでは、こうしたものである。
 刺激の強い情報があふれかえる社会の中、生命に対する私たちの想像力は貧弱になっている。9.11事件で、まるでゲームか映画のように崩れていくビルを見ながら、虚構と現実の境目が崩壊した。「アクション映画」の裏側で、どれだけの命が奪われ、さらにその奥のアフガニスタンやイラクで、どれだけの人が「自由」の旗の下に飢えて来たのか。
 野の花館は、命にあふれた空間である。
 木の香り、水の匂い、虫が飛び回り、星の瞬きが見える空間で、蚊に刺されながら映画を見る。
 「対馬丸」は決して「楽しい」映画ではない。夏休みの野外映画会なのだから、もっと無邪気なもので楽しみたいとも思う。
 それでも、この、気や水の香りとともに、「対馬丸」も子どもたちの心に残ることだろう。
 教条主義を超えて戦争を伝えるのは、ささやかでもちょっと特別な記憶と共にある、このようなひとときを作ることから始まるのではないだろうか。

////////////////////////////////////

暑い1日が終わり、夕闇が迫るころ、竹林に囲まれた野の花館の舞台前庭で「ぼくとときどきぶた」につづき「対馬丸」が上映され、お父さん、お母さんと一緒に来た子ども達は戦争の犠牲になった沖縄の子ども達の物語を最後まで熱心に見入りました。



当時、沖縄の国民学校4年生で宮崎へ疎開した崎原朝一さん「現在アビンドン国プエルトリクス市在、アビンドン日本人移民史編集長）は「対馬丸」上映にあたり次のメッセージをEメールで寄せ、運命の分かれ目にあったことを話してくれました。



『僕が学童疎開として乗った船は先発隊で、対馬丸は第3番目。“本当はこの船に乗る予定だったが、従兄が先発隊なのでいっしょの方が良いと無理に頼み込んでそこに入れてもらった”と母は言っています。人の運命は判らないものです』

写真上；移民史スペイン語版出版披露の席で、右から崎原編集長、水谷会長、一色田編纂委員長、永井駐アビンドン大使、大部公使、同夫人の皆さん

////////////////////////////////////

WAM助成・野の花館の子育て支援事業・2004

- * 親育ち子育て教室・・・文庫・クッキング・工作・演劇ワ - クなど 11 回を数えました。最新の演劇ワ - クの様子が右の記事です。
- * 子育て支援情報誌作成・・・いよいよ高鍋町内の関係者にアンケートのお願いをする予定です。よろしくお願いいたします。
- * 支えあう子育て支援・・・9月で第5回、回を増すごとに新入児が増え学童の大きい子達に助けられ、順調です。異年齢の子供たちが互いに育ちあう様子は本当に素敵です。

子どもの居場所 2004 ノートより

6月5日(土) くもり/雨

今日は、野の花館にきたら茜と玄貴が来ていました。しばらくすると大山家の子供達がやってきてとてもにぎやかにになりました。その後、今日から新しくはいるしゅんちゃんがお父さん、お母さんとやってきました。最初お父さん、お母さんと離されると泣き出してしまいましたが、しばらくすると元気になり1人であっちこっち動き回っていました。今日はしゅんちゃん、たまちゃん、みゆきちゃんと目をくばらなければならない子がいっぱい大変でした。他の子もみてあげたいと思うのですが、なかなかできません。お昼はテーブルを舞台に並べてみんなで食べました。みんなそれぞれ持ってきたお弁当をパクパク残さず食べました。お昼を食べ終わったら、なつみがお母さんに送られてやってきて、1人今日も見事なお弁当を食べていました。しゅんちゃんのご飯に集中せず、食べては動き回りをくりかえしていました。お昼寝もなかなか寝つかず1:00ごろやっと眠ってくれました。多分、慣れない環境の中に1人だったので興奮してしまったのだと思います。同じ頃、茜が帰り翔希がやってきました。やってきて早々に玄貴とケンカして「玄貴はいつもボクばかりいじめると泣いていましたが、しばらくするとへやの奥の方でひろしとブロックで遊んでいました。2時頃になるとなみが宿題やり始めました。プリントとかいっぱいあるようで大変そうでした。2時半頃へやの片付けをしてくれました。丁度大山さんが迎えに来ておやつを食べたのですが、帰るときにけい子とひろしが大ゲンカをして2人ともへやの奥で大泣きしてしまいましたが、お母さんが言うには2人は兄弟姉妹の中で1番仲が良いそうです。仲が良いほどケンカするとはこういう事でしょうか？翔希もおやつを食べ終わるころに漢字練習をやり始め、雨が降っていたので大山家の車に乗って一緒に帰って行きました。その後、みゆきちゃんの迎えがきてなつみちゃんが最後でした。みゆきちゃんは人生ゲームをやっていて、終ってからの片付けをなかなかしませんが、最後にはきちんと片付けました。みゆきちゃんとなつみちゃんは2人だけ残ったら、ずっとピアノをひいて遊んでいました。なつみちゃんはネコふんじゃったとかをひいていました。とても上手でした。みゆきちゃんも楽しそうにしていました。今日は雨であまり外で遊べなかったのですが、みんな元気で良かったです。かげひかないようにネ。(境 美穂)

7月3日(土) 晴れ

今日は、ずっとまなかちゃんについていました。最初、ピアノのイスにすわって、ずっとかたまったままでしたが、本を見つけて、走って行きました。1冊読んで(見て)は本を帰して新しい本をと、たくさん本を読んでいます。しだいに周りになれてきたのか、おいかっこをしました。外に出て走り回るころには、笑顔がたくさんみられました。お昼ごはんは、カラアゲとポテトをのこしていましたが、多分、お茶をたくさん飲んだからだと思います。午後は、用水路で中に入ってあそんでいました。葉っぱを流すのが楽しいらしく、つばきらしき木の葉をたくさん流しました。笹があったので、笹舟を作っていると「ぼくも作る!おしえて!!」とまさしが来ました。2回ほどおしえてあげると、あとはもう自分で簡単に作っていました。手先がとても器用なことにおどろきました。手なれたころには、自分のオリジナル笹舟を作っていました。今日はケガが多かった気がします。もっと気をつけて、と言うか、周りをよくみないとかなと思いました。(竹田恵理)

小さな役者熱演

親子で「芝居ごっこ」

高鍋

高鍋町で高鍋の特産品、それが名前を決めて、営利活動法人(NPO法)タート。新聞紙を使った「野の花館」で二十ゲームや忍者のまに静七、親育ち・子育て教室に歩く、修り、なご五、空「劇あひ・にんじや」二つな「ごっこ遊び」のたんけんたい」があった。

最後に高鍋が参加して、町内から親子約三十人が親子で「ごっこ遊び」を楽しんだ。

熊本興大津町在住の舞台俳優木内美奈さん(38)役をせりふ、音楽などを講師に、まず参加者で

最後は高鍋が参加して、町内から親子約三十人が親子で「ごっこ遊び」を楽しんだ。

熊本興大津町在住の舞台俳優木内美奈さん(38)役をせりふ、音楽などを講師に、まず参加者で

忍びになって「ごっこ遊び」を楽しんだ。子どもたちは、大人を真似て「ごっこ遊び」を楽しんだ。

木内さんは「遊びの中、ね、子どもには、大人からいろいろなことが生まれる。子どもは、大人を真似て「ごっこ遊び」を楽しんだ。

同教室は独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて、来年度(2005年)まで毎月三回開いている。初めての参加者は登録料1000円、問い合わせは野の花館(23)0701。

今日は、子ども達がたくさん来てとてもにぎやかな1日でした。最初、まあくん、たまちゃん、みゆきと人生ゲームをやりました。でも、みんなちらかすだけちらかすと他の事で遊びだし、結局片付けをしないままでした。ひろし、しょうき、げんきは本棚のところに座ぶとんをもちこんで基地をつくっていました。けいこはテーブルでピースをいじっていましたが今日も少し機嫌が悪そうでした。こうきは遊ぶ相手がいなかったのか私も小さい子に付いていたのでかまってあげられなかったので、1人ピアノをひいたり、たまちゃんの面倒をみたりしていました。お昼ごはんの時になつみがやってきました。たまちゃんは弁当の卵焼き、ウィンナー、ポテトフライだけをパクパクたべ、白飯を食べようとしませんでした。その後、みんなのお弁当をちょうだい、ちょうだいと回ってもらっていました。午後になって、なつみ、しょうき、げんきで用水路にいきました。なつみはカニをつかまえ、エサにする魚をとろうとがんばっていました。その後、こうせいが出て、魚をいっぱいつかまえました。こうせいは、魚や水中の生物にくわしくて色々教えてくれました。将来は考古学者になりたいと言っていました。夢はでかく！なれるといいです。途中でさららとあやねがやってきて仲良く走り回っていました。たまちゃんは、こうきのお母さんにだっこされて寝てしまいました。おやつを食べてしばらくするとみんな次々に帰ってきました。（二階堂真理子）

7月24日（土） 晴れ お泊まり会

夕食は一品もち寄りのパーティーみたいなおごちそう。なっちゃん、あかねちゃん、げんきのお母さん達ともなちゃんも一緒にたのしい夕食となりました。

食後はみんなで花火タイム！大喜びでたくさんのお花火をしました。あかねはお母さんに「お母さん花火していきなさいよー」とさそっていましたがふられてしまいました。花火の後はスイカタイム！こうきのお母さんも顔を出してくれました。

布団を敷きはじめ、お母さん達の姿がなくなるとなんとなくみんなカラ元気に……。絵本「くらやみえんのぼうけん」を読むと、みんなだんだんこわくなりはじめ「つきのぼうや」はちょっと無関心……。そして紙芝居「のっぺらぼう」は「読まなくていい！」という子ども達。いえいえ、そうえんりよなさらずに……。しっかりこわーく読んであげました。きゃー

電気を消すと、すぐねついたのが、こうき、なみ、けいこ。ウロウロ歩きまわりおちつかないげんきとすずちゃん。「ねない！」とはりきっていたげんきはその後すぐ寝つきました。すずちゃんはすーとおちつかない様でしたのでお迎えをおねがいしました。なかなか寝つけなかったのが、なっちゃんとたまよ。たまよはいつも夜ふかし娘なので泣かなかった分おりこうさん!! 夜中たびたび目が覚めていた様子のしょうき。水分補給になみとけいこがおきてきました。いつもの事でたまよも目を覚ましました。そんなこんなで五時から元気におきて走り回るげんきは私から「6時まで大山さんを起こしちゃいかん!!」と叱られました。他の子達もほとんど6時には起きて虫とりをしたり、髪を結びあったりしていた様です。そんな中でもすーと寝ていたこうきとまさし。さすが……

ジ オ体操はとっても気持ち良かったのに「カードがないからしな一い！」とゲームをたのしむげんきとしょうき。朝ごはんでは、景子とひろしの姉弟げんかがはじまり、大泣きのひろしは一時家へ……。私も家へ……。もどって来ると食後の片付けもできていてみんなくつろいでいました。

……はじめてお母さんからはなれてお泊まりしたというあかねちゃん……。かなりコーフン気味でしたが、夜もよくねて、朝もなっちゃんの髪を三つ編みして、とってもお姉さんになった気がしました。

今日はこれから堤さんのクッキング。みんなとってもたのしみにしています。（大山磨佐恵）

8月11日（水） 晴れ

今日の午前中はみんなでルピナスパークへ。

大山姉弟（けいこ、ひろし、まさし）も現地で合流して、施設内のクーラーがきいた心地よいところで農業の勉強！？をしました。みんなは、大型スクリーンに写し出される自分たちの姿に大騒ぎ。幸い来客が少なく、十分に遊べました。

午後からは、北東のシミで家ごっこ。途中でまさしが入って8人でおだやか～な遊びでした。3時になったら片付けなので、お姉ちゃんが彼らの家の玄関をノックして「責任者の方にお問い合わせがあるのですが……」と片付けをたのんだところ、とっても素直！（めったに見れない光景！）に「わかりました～!!」。そして、高学年が低学年を指揮してりっぱにお片付けできましたっ まる!!

おやつを食べたら、則松さんも入って10人で“たこつぼ”ゲームをしました。最後はみんな楽しく遊べて、お姉ちゃんもホッ……。 （竹嶋道代）

育児だより

* ちなぼん日記 *

金丸 智子

日を追うごとにたくましくなる千夏。この夏休み、我が家はすさまじい嵐が吹き抜けた。上二人にしっかり混じってさわぎまくるのである。宿題をしていれば、自分も机に登りたい。遊びに行こうとすれば、自分も靴の準備をして当然の様に玄関で待っている。いつの間にか脱走することも覚えてしまった。



この夏は、毎週末に合唱やら、陸上の大会が入っていて、それに付き合っていた千夏だが、それなりに楽しんでいた様である。一番の収穫は、うたにあわせて踊りを踊るようになったこと。大きいお兄ちゃんお姉ちゃん達よりもノリノリだった。

又、皆にかわいがられて有難いものである。だが、かまわれることが増えることに対して、自分の意志がハッキリしてきた為なのか、「いやもん!」と強くつばねることが多くなってきた。それもかなり激しいのである。寝顔も強そうだったのだが、行動・口が伴うにつれて、性格の強さが前に出てくるようになってきている。この先どうなることやら・・・!

でも・ん・までよ。この爆発の仕方は・・・。

そう・・・あまりに宿題の片付かない上二人に対して怒りまくっていた、日々の私の姿なのであった。反省。(反省はするけれど一応。でも感情ださないと私がおかしくなるもんねえ～なんて開き直るから、本当イケナインデショウ。はい。)

* 幼稚園の巻 *

岡田心平(今回は、夏勢のお父さんからの報告です。)

4月から幼稚園に行くことになりました。

県立赤江養護学校の幼稚部です。今まであまり外に出て同年齢の子どもと遊ぶ機会が少なかったので、うまくなじめるか、それが心配の第1であり、しかしだからこそ幼稚園に行かせたいと考えたわけです。

最初の2日間は、案の定、母親が付きっきり。3日目。幼稚園の玄関で「じゃ、行ってくるわ」と、一人スタスタと歩いていったという・・・。なんともあっけない親離れ。拍子抜けするやら、寂しいやら。まあ、どこでもそんなもんなんでしょうけどね。幼稚園は3人で、先生も3人。それぞれに障害を持っているので、ゆっくりとしたペースで、やっています。隔離したようなところに行くのはいかがなものか、という養護学校批判があるのも十分わかっています。でも、ゆっくり段階を踏んで、地域になじんでいけば良いのではないかと考えています。逆に、ハンディを負った人たちと普通の感覚で接することができるようになるでしょうし、マンツーマン教育なんて、望んだってできないことでしょう。そうプラスに考えて、まずは1年、行ってみようと思っています。



夏勢も慣れてきたようで、給食を楽しみに、毎日張り切って出かけていきます。

高校生まで一緒の学校なので、大きいお兄さんお姉さんと一緒に、運動会や遠足、社会見学に行ったりします。初めてプールに入ったり、料理をしたり、初めてのいろいろな体験。

まあ、別に、珍しくもない、どこにでもあることなのでしょう。

でも、そうして「普通」にできることが、ふと、生まれて間もない頃の事を思い出すと、奇跡のように尊いことだと思えるのです。

* たまちゃんのまき *

大山磨佐恵

たまよは、よくしている。お父さんが何でも言うことをきくということ。毎日寝る前にアイスをおねだり、抱っこに散歩に思いのまま。夏休み、お父さんと離れている間は、アイスがなくても寝ていたくせにお父さんを見たときとたんくれるまで寝ない。確実に智恵をつけている。



今年の夏は来客が多かった。国土の3分の1が水につかる洪水、前首相暗殺未遂事件による治安悪化にもかかわらず、多くの知人がやってきた。みんな驚くのが、次々と建設の進む高層ビルと、渋滞の道路に目立ちだした新車である。<バングラデシュは貧しい国>という先入観が揺らぎ始める。そんな知人を、私はアイスクリーム店に連れてゆく。

アジア砒素ネットワークのダッカ事務所のあるボナニ地区に、この1年、数え切れないほどの西欧風店舗が開店した。その一つの店で、一盛60タカのアイスクリームを食べる。そして、こんな風に説明する。「今べろりと食べたアイスクリームの値段は、農業労働者の1日の賃金とっしょなんですよ」

首都ダッカの金持ちが豊かになっても、土地をもたない農業労働者の貧しさは相変わらずだ。近年、貧富の差がますます拡大しているように見える。社会的不平等の根を絶たないと、いくら先進国が資金を援助しても、貧しさは解消されない。国際協力はどうかあるべきか、アイスクリーム店に立ち寄るたびに、そのことを考える。

事務局日誌より

- 6/12(土) 6月定例会
- 19(土) 第4回親育ち子育て教室・工作教室
- 26(土) 第5回親育ち子育て教室・文庫 第2回情報誌編集会議
- 7/3(土) 第3回支えあう子育て支援活動
- 10(土) 7月定例会
- 16(金) 平和を考える集い2004「対馬丸」野外上映会 親子20組、おとな18名、小学生8名、幼児約30名
- 17(土) 第6回親育ち子育て教室・工作教室
- 21(水) 第7回親育ち子育て教室・文庫
- 22(木) 自由研究・リサイクルカードづくり
- 23(金) 子どもの居場所 お泊まり会
- 24(土) 第8回親育ち子育て教室・クッキング・第3回情報誌編集会議
- 28(水)・29(木) 稲刈
- 30(金) 「夏休みふれあい映画祭」延岡へ子どもの居場所の学童、鑑賞に行く
- 8/3(木) 第9回親育ち子育て教室
- 7(土) 第4回支えあう子育て支援活動
- 8(日) 親と子のつどいわんぱくまつり(児湯福祉事務所より協力要請)西都市民会館 8名参加
- 19(木) 中学生ボランティアセミナー 7名参加
- 21(土) 第10回親育ち子育て教室・工作教室
- 26(木) 8月定例会
- 27(金) 第11回親育ち子育て教室・劇あそび・連続2講座
- 28(土) 第4回情報誌編集会議

感謝します！2004年度分会費・寄付金をいただきました。

辛島泉、岡山勇、金丸京、藤田規子、藤原慶子、日向市高齢者クラブ女性部、日向市ボランティア連絡協議会、中島佳江子、益山恵美子、間妙子、佐藤亮、まついのりこ、城戸三枝、川澤恭子、冨迫美幸、橋本佐代、高橋裕子、岩見晶臣、境美穂、二階堂真理子、田口万里子、吉川昌芳、伊藤美津子、金子信吾、道北里枝、永野 寛、永野欣子、(有)椎葉工務店、平野伊津子、竹嶋寛・道代、佐土原裕一・しづ子、上野節子、永山由美好、西香江、杉山智一、佐藤昭二、黒木京美、川崎美智子、原田ヨリ子、竹田恵理、山下久美子、小森邦子、堤伸子、杉田良子、吉村勝子、釜淵章匡、南リ子、黒木淑子、木内里美、梅津貞夫、小村三郎、川原益見

[順不同、敬称は省略させていただきました]

ご意見ご感想ご質問などお寄せください。

宛先: 特定非営利活動法人 野の花館

〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 2664

phone & fax; 0983-23-0701

e-mail; nonohanakan.jp@ybb.ne.jp

URL: http://nonohanakan.com